

# MIT標準教科書 ストラング：線形代数とデータサイエンス

## 正誤表

修正	位置	誤	正
第1章			
3刷	25 ページ 2 つ目の 数式	<b>3 × 3 の例</b>	<u>別の 3 × 3 の例</u>
2刷	62 ページ 下から 2 行目	$Av_k = \underline{\sigma_R} u_k$ という式は	$Av_k = \underline{\sigma_k} u_k$ という式は
第5章			
2刷	278 ページ 式 (10)	正規分布 $\mathbf{N}(m, \sigma)$	正規分布 $\mathbf{N}(m, \sigma^2)$
2刷	305 ページ 下から 2 行目	独立な試行では, 式 (2) <u>のとおり</u>	独立な試行では, 式 (2) <u>において</u>
2刷	306 ページ 式 (3) の 3 行上	<u>新しい標本</u> $X = (\text{年齢}, \text{身長}, \text{体重})$ から	<u>すべての標本</u> $X = (\text{年齢}, \text{身長}, \text{体重})$ から
2刷	306 ページ 式 (4) の 1 行上	<u>2 枚のコインを用いる実験 1 と実験 2 の</u>	<u>(2 枚のコイン投げのような)実験 1 と実験 2 の</u>
2刷	307 ページ 式 (6)	$\sum_{j=1}^n p_{ij} =$	$\sum_{j=1}^N p_{ij} =$
2刷	307 ページ 式 (8) の 2 行下	式 (7) の美しいところは, <u>それが 2 × 2 行列 <math>V_{ij}</math> と組み合わせる</u> ことだ.	式 (7) の美しいところは, <u>2 × 2 行列 <math>V_{ij}</math> の線形結合と</u> なっていることだ.

修正	位置	誤	正
第 6 章			
2 刷	361 ページ 本文 1 行 目	楕円の <u>方向</u> （等高の方向）は、	楕円の <u>接線</u> （等高の方向）は、
2 刷	365 ページ 式 (11) 見出し	<u>モメンタム</u> <u>ありの降下</u>	<u>モメンタムありの</u> <u>ベクトル方程式</u>
2 刷	366 ページ 下から 7 行目	最急降下法 $\left(\frac{0.99}{1.01}\right)^2 \equiv \mathbf{0.96}$ 加速降下法 $\left(\frac{0.9}{1.1}\right)^2 \equiv \mathbf{0.67}$	最急降下法 $\left(\frac{0.99}{1.01}\right)^2 \approx \mathbf{0.96}$ 加速降下法 $\left(\frac{0.9}{1.1}\right)^2 \approx \mathbf{0.67}$
第 7 章			
2 刷	389 ページ 9 行目	隠れ層の要素が $\underline{g} = 4$ 個、	隠れ層の要素が $\underline{q} = 4$ 個、
2 刷	404 ページ 問題 1	式 (4) に従う関数 $F$	式 (4) に <u>続く</u> 関数 $F$
2 刷	412 ページ 5 行目	式 (4) で分数ができてしまう。	式 (7) で分数ができてしまう。
2 刷	413 ページ 式 (9) の 3 行下	数は、 <u>大きさが変わる</u> 。	数は、 <u>大きさの変化に影響を受ける</u> 。